

エジプト学研究第 22 号 2016 年

The Journal of Egyptian Studies Vol.22, 2016

目次

〈序文〉	吉村作治	3
〈調査報告〉		
2015 年 太陽の船プロジェクト 活動報告	黒河内宏昌・吉村作治	5
第 23 次アブ・シール南丘陵遺跡調査概報	吉村作治・河合 望・近藤二郎・高宮いづみ・高橋寿光・竹野内恵太・山崎美奈子・福田莉紗	15
第 24 次アブ・シール南丘陵遺跡調査概報	吉村作治・河合 望・近藤二郎・高宮いづみ・柏木裕之・高橋寿光・米山由夏・松永修平・山崎世理愛	29
アブ・シール南丘陵遺跡第 23 次・第 24 次調査保存修復作業	苅谷浩子・柏木裕之・高橋寿光・河合 望・吉村作治	41
第 12 次アブ・シール南丘陵遺跡調査において出土した集団埋葬墓人骨の人類学的分析（予報）	坂上和弘・馬場悠男・平田和明	51
非破壊オンサイト蛍光 X 線分析によるアブ・シール南丘陵遺跡集団埋葬墓出土遺物の化学的特性化	阿部善也・大越あや・内沼美弥・扇谷依李	69
エジプト ダハシュール北遺跡調査報告—第 22 次調査—	吉村作治・矢澤 健・近藤二郎・柏木裕之・竹野内恵太・山崎世理愛	91
第 8 次ルクソール西岸アル＝コーカ地区調査概報	近藤二郎・吉村作治・菊地敬夫・柏木裕之・河合 望・高橋寿光・竹野内恵太・福田莉紗	113
〈論文〉		
エジプト先王朝時代ネケンにおける石製容器の穿孔法—石器使用痕観察と穿孔実験からの推定—	長屋憲慶	149
〈研究ノート〉		
古代エジプトの親族名称研究の現状と課題	齋藤久美子	167
画像資料からみたエジプト中王国時代の装身具研究序論	山崎世理愛	179
〈動向〉		
埃及学指南のための覚書	河合 望	205
〈活動報告〉		
2015 年度 日本エジプト学会活動報告		229
2015 年 エジプト調査		233

The Journal of Egyptian Studies Vol.22, 2016

CONTENTS

Preface	Sakuji YOSHIMURA.....	3
Field Reports		
Report of the Activity in 2015, Project of the Solar Boat	Hiromasa KUROKOCHI and Sakuji YOSHIMURA.....	5
Preliminary Report on the Twenty-Third Season of the Waseda University Excavations at Northwest Saqqara, 2014	Sakuji YOSHIMURA, Nozomu KAWAI, Jiro KONDO, Izumi TAKAMIYA, Kazumitsu TAKAHASHI, Keita TAKENOUCI, Minako YAMASAKI and Risa FUKUDA.....	15
Preliminary Report on the Twenty-Fourth Season of the Waseda University Excavations at Northwest Saqqara, 2015	Sakuji YOSHIMURA, Nozomu KAWAI, Jiro KONDO, Izumi TAKAMIYA, Hiroyuki KASHIWAGI, Kazumitsu TAKAHASHI, Yuka YONEYAMA, Shuhei MATSUNAGA and Seria YAMAZAKI	27
Preliminary Report on the Conservation Work at North-West Saqqara in 2014 and 2015 Seasons	Hiroko KARIYA, Hiroyuki KASHIWAGI, Kazumitsu TAKAHASHI, Nozomu KAWAI and Sakuji YOSHIMURA	41
Report on the Study of Human Skeletal Remains from the Multiple Burial in Northwest Saqqara, Egypt -Preliminary report-	Kazuhiro SAKAUE, Hisao BABA and Kazuaki HIRATA.....	51
Chemical Characterization of Artifacts Excavated from an Intact Multiple Burial at Northwest Saqqara by Nondestructive Onsite X-ray Fluorescence Analysis	Yoshinari ABE, Aya OKOSHI, Miya UCHINUMA and Eri OGIDANI.....	69
Preliminary Report on the Waseda University Excavations at Dahshur North: Twenty-Second Season	Sakuji YOSHIMURA, Ken YAZAWA, Jiro KONDO, Hiroyuki KASHIWAGI, Keita TAKENOUCI and Seria YAMAZAKI.....	91
Preliminary Report on the Eighth Season of the Work at al-Khokha Area in the Theban Necropolis by the Waseda University Egyptian Expedition	Jiro KONDO, Sakuji YOSHIMURA, Takao KIKUCHI, Hiroyuki KASHIWAGI Nozomu KAWAI, Kazumitsu TAKAHASHI, Keita TAKENOUCI and Risa FUKUDA.....	113
Articles		
Stone Vessel Drilling Method at Predynastic Nekhen, Hierakonpolis: Perspectives from Use-wear Trace Analysis and Experimental Drilling.	Kazuyoshi NAGAYA	149
Current Status and Issues of Kinship Terminology in Ancient Egypt	Kumiko SAITO	167
Introduction to a Study on Personal Adornments of the Middle Kingdom in Ancient Egypt through the Iconographic Analysis	Seria YAMAZAKI.....	179
Note on the current research tools for Egyptology.....	Nozomu KAWAI.....	205
Activities of the Society, 2015-16.....		229
Brief Reports of Fieldworks in Egypt, 2015.....		233

埃及学指南のための覚書

河合 望*

Note on the current research tools for Egyptology

Nozomu KAWAI*

はじめに

インターネットの登場によってエジプト学に関する膨大な情報を入手しやすくなってから久しい。学術雑誌も電子ジャーナル化が進み、嘗ては入手が困難であった専門書も有料あるいは無料でPDFをダウンロードすれば手に入るようになり、隔世の感がある。エジプト学研究ではリファレンスが極めて重要であり、このような時代の流れによって研究の進歩が期待される予感がするが、特に初学者が膨大な情報の中で何を見れば良いのか困惑するかもしれない。一方で従来の紙媒体による出版物も年々増加しており、エジプト学研究の多様化、細分化が広がっていることを実感する。

本稿では、筆者の経験を基にエジプト学を専攻する学生を主な対象として、インターネットにおいてエジプト学研究に有益なサイトと最近の良書を紹介し、研究のための文献案内の一つの手引きを示したい¹⁾。

事典

エジプト学において最も網羅的な事典は、1975年から1992年にかけて刊行された全7巻のW. Helck und W. Westendorf (eds.), *Lexikon der Ägyptologie*. Otto Harrassowitz, 1975-1992である。大部がドイツ語で記述されているために、初学者は苦勞するかもしれないが、非常に細かい項目について20世紀末までのエジプト学研究の成果が網羅されている。これに続く事典としては、以下が挙げられる。

D.B. Redford (ed.), *The Oxford Encyclopedia of Ancient Egypt*. 3 vols. Oxford: Oxford University Press, 2001. これは、有料であるが電子版もある。

<http://www.oxfordreference.com/view/10.1093/acref/9780195102345.001.0001/acref-9780195102345>

エジプト考古学の事典としては、以下がある。

K. Bard (ed.), *Encyclopedia of the Archaeology of Ancient Egypt*. London: Routledge, 1999.

コンパクトな事典としては、I. Shaw and P.T. Nicholson (eds.), *The British Museum Dictionary of Ancient Egypt*. London: British Museum Press, 1997があり、邦訳は内田杉彦訳『大英博物館古代エジプト百科事典』原書房、1997年として刊行されている。

エジプトを含むオリエントおよび地中海世界の古代史の事典としては、近年以下の書籍が出版された。

* 早稲田大学高等研究所准教授

* Associate Professor, Waseda Institute for Advanced Study, Waseda University

R. Bagnall, K. Brodersen, C.B. Champion (eds.), *The Encyclopedia of Ancient History*. 13 vols. New Jersey: Wiley-Blackwell, 2012.

これも有料の電子版がある。 <http://onlinelibrary.wiley.com/book/10.1002/9781444338386>

紙媒体のない電子版だけのエジプト学の網羅的な事典が、カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA) で開始され、現在進行形で項目が追加されている。UCLA Encyclopedia of Egyptology (UEE) と命名されたこのウェブサイト (Beta version) (<https://uee.ats.ucla.edu/welcome/>) は、自然環境、地理、年代と歴史、人物、宗教、個人と社会、言語・文献・文字、物質文化・美術・建築、知識、エジプト学と10項目に分類され、検索ができるようになっている。各項目は、査読を受けた総説の形式を取り、英語にアラビア語の要約が付けられている。またホームページの右側には、Time Map が設けられており、時代ごとの主要な遺跡が Google Map の地図上で示されている。また、各項目の PDF 版は、UCLA Encyclopedia of Egyptology (Open version) (https://escholarship.org/uc/nelc_uee) でダウンロードできる。探している項目があれば、最新の研究の成果はこちらを参照されたい。今後も徐々に項目が増えるとのことなので、将来的に最も網羅的な事典となることが期待される。

日本語での事典は、その他に吉村作治編著『エジプトを知る事典』東京堂書店、2005年を参照されたい。また、古代エジプトを含む古代オリエントの事典として、日本オリエント学会編『古代オリエント事典』岩波書店、2004年があり、有益である。巻頭の部分には、260頁もの総論が設けられており、古代オリエント研究の指針となるものである。

また、エジプトの遺跡の概要については、J. Bains and J. Malek, *Atlas of Ancient Egypt*. New York: Checkmark Books, 1980 (平田寛監修、吉村作治訳『古代のエジプト』図説世界文化地理百科、朝倉書店、1983年) が有益である。エジプト全土の遺跡の解説のみならず、文化的背景、社会の概観などの章が設けられており、質の高い概説書である。

方法論概説

エジプト学とは古代エジプトの考古資料、文字史料、図像資料等からその歴史と文化を研究する学問分野であり、そのものに方法論があるわけではない。つまり古代エジプトを対象として方法論として考古学、文献史学、美術史学、建築学、言語学、文学、宗教学、文化人類学などの「親学問」を駆使して研究を遂行するのである。エジプト学者は、それぞれが異なる方法論、異なる対象を持ち、研究を行っている。また研究者によっては複数の方法論を駆使して学際的に研究を行っている。そのようなエジプト学の各研究の課題と展望についてまとめた書物として以下を挙げる。

最も古典的なエジプト学入門は、E. Hornung, *Einführung in die Ägyptologie*. Darmstadt: Wissenschaftliche Buchgesellschaft, 1984 であり、版が重ねられ今日でも定評な本として位置付けられているが、やや時代遅れの感がある。ドイツ語で書かれた最新のエジプト学の方法論的な概説書として以下を薦めたい。

A. Verbovsek, B. Backes, C. Jones (eds.), *Methodik und Didaktik in der Ägyptologie: Herausforderungen eines kulturwissenschaftlichen Paradigmenwechsels in den Altertumswissenschaften*. München: Wilhelm Fink, 2011.

本書は、厚さ5cm以上もある大著だけあって、エジプト学の今日的な課題について網羅的に扱っている。特に第3章の方法論を扱った章では、①考古学と建築、②美術、③音楽、④言語学、文献学、文学、⑤歴史と社会、⑥宗教と6つの節に分かれており、第1線の研究者が研究の現状と展望について論じている。各論考は英文の要旨が付けられており、英語圏の研究者による論考は英文で記されている。特に個人的に興味深い論考を幾つか紹介したい。考古学の節の Julia Budka

の論考“Fundmaterial aus Gräben: Möglichkeiten und Grenzen der archäologischen Interpretation und ihre didaktische Vermittlung”では、埋葬資料の考古学的な解釈は、埋葬習慣や葬祭文化を復元するだけでなく、古代エジプト人の生活、社会組織、倫理観、思想なども明らかにすると具体例を提示している。また古代エジプトの来世観について文字資料や図像資料に示されたものとは矛盾し異なる様相を考古資料は提供するとし、今後の研究の方向性を示している。また、John Bains の論考“*Egyptology and the Social Sciences: thirty years on*”は、1979年に刊行された K.R. Weeks (ed.), *Egyptology and the Social Sciences*, Cairo: American University in Cairo Press, 1979 から 30 年が経過し、その間のエジプト学と社会科学の関係について批評している。本論考では、1970 年代からの人類学、社会学の流れとエジプト学研究を対比し、特に理論考古学や歴史社会学において近年強調される「物質性 (Materiality)」や「行為 (者) (Agency)」はエジプト学に関連するものであるとし、そのような概念を駆使することで近年一般化され過ぎているエジプト文明の比較研究の落とし穴を避け、これまであまり注目されていなかった研究課題が示唆されると主張している。なお、エジプト学と社会科学に関する研究書としては、人類学的なエジプト学研究を扱った、J. Lustig (ed.), *Anthropology and Egyptology: A developing Dialogue*, Sheffield; Sheffield Academic Press, 1998 がある。北米の考古学は人類学理論の影響を受けやすいため、人類学の方法論が積極的にエジプト学に導入されている。

より一般書に近くエジプト学の方法論を扱ったものとしては、R.H. Wilkinson (ed.), *Egyptology Today*. Cambridge: Cambridge University Press, 2008 がある。第 1 章が方法論、第 2 章が記念物、第 3 章が美術と遺物、第 4 章が文字で、それぞれの章に幾つかの論考が掲載されている。第 1 章では、K.R. Weeks が「考古学とエジプト学」、D.B. Redford が「歴史学とエジプト学」、A.R. David が「医化学とエジプト学」という題で研究の動向を示している。

一般書でエジプト学研究の現状を記したものとして、I. Shaw, *Ancient Egypt: A very short Introduction*. Oxford: Oxford University Press, 2004 (近藤二郎、河合望訳『古代エジプト』岩波書店、2007 年) がある。随所に最近の研究の動向についての記述が見られる。

総論

エジプト学の総論として近年出版されたものでは、A.B. Lloyd (ed.), *A Companion to Ancient Egypt*, 2 vols. New Jersey: Wiley-Blackwell, 2010 が出色である。本書は、自然環境、歴史、国家と経済、社会秩序、言語と文学、視覚芸術、エジプト文化の受容と 7 つの章を設けて、現在のエジプト学研究のスタンダードを示している。また、T. Wilkinson (ed.), *The Egyptian World*, London: Routledge, 2007 も様々なテーマの最近の動向をまとめた総論として推薦したい。カラー写真と図版が豊富な古代エジプト文明の概説としては、R. Schulz and M. Seidel (eds.), *Egypt: The World of the Pharaohs*. Cologne: Könnemann, 1997 (邦訳『エジプト・ファラオの世界』Cologne: Könnemann 2000 年) を薦めたい。和訳は日本のエジプト学者が監修していないので、表記に若干の問題があるが、内容は非常に充実している。

エジプトを含めた古代オリエント史の総論としては、J.M. Sasson, *Civilizations of the Ancient Near East*, 4 vols. New York: Charles Scribner's Sons, 1995 が網羅的な総論である。古代オリエント世界の先史時代からアレクサンドロス大王の東征以前の様々なトピックを扱っている。第 1 巻では、①西洋思想における古代近東、②環境、③人口、④社会組織、第 2 巻では、⑤歴史と文化、第 3 巻では、⑥経済と交易、⑦技術と工芸、⑧宗教と科学、第 4 巻では、⑨言語、文字、文学、⑩視覚芸術、舞台芸術、⑪回顧的エッセイの章から構成される。出版されてから 10 年が経ってしまっているが、特に初学者には薦めたい。

通史

嘗て通史といえば、*The Cambridge Ancient History* がバイブルとして読まれていた。1970~80年代にかけて出版されたものであるが、それまでの研究の成果が反映された大著である。現在は、オンラインで無料ダウンロードすることができる。URL は以下の通りである。

http://universitypublishingonline.org/cambridge/histories/subject_title_list.jsf?subjectCode=04&seriesCode=CAH&heading=The

また同様に通史の良書として挙げられるのは、A.H. Gardiner, *Egypt of the Pharaohs: An Introduction*. Oxford: Oxford University Press, 1966. である。一人のエジプト学者が先王朝時代から前332年のアレクサンドロス大王の征服までの時代までの執筆した通史として出色である。特に、第4章のエジプト史の基盤と特徴では、いかにして古代エジプトの歴史が叙述されてきたのかが詳述されており、初学者に有益な情報を提供している。

近年では、以上のような古典的な大著からより新しい研究成果を反映するような通史がいくつか出版されている。古典的な王の治績を中心とした通史では、I. Shaw (ed.), *The Oxford History of Ancient Egypt*. Oxford: Oxford University Press, 2000 が定評である。各時代はそれぞれの時代の専門家によって執筆されており、新史料を含めて新しいエジプト史が著されている。さらに、近年ではアッシリア学者 M. Van De Mieroop による *A History of Ancient Egypt*. New Jersey: Wiley-Blackwell, 2011 が非常に分かりやすく叙述されており、初学者には推薦したい。先史時代の記述が少ないのに不満が残るが、特に西アジアや地中海世界との関係については充実している。また、各章に Key Debate を設けてあり、各時代の主要な問題点が把握しやすい。巻末の参考文献の部分には、今日らしく関連するインターネットのホームページの URL が記してあることも新規性のある点である。初学者向けの通史では、T. Wilkinson, *The Rise and Fall of Ancient Egypt*. New York: Random House, 2010 も読み物としては分かりやすいので挙げておく。

エジプト学においても1980年代より所謂アナル学派を中心とする「社会史」の影響を受けた通史が出版されるようになった。その最初の試みとして、B.G. Trigger, B.J. Kemp, D. O'Conner and A.B. Lloyd (eds.), *Ancient Egypt: A Social History*. Cambridge: Cambridge University Press, 1983. がある。同じような「社会史」的な視点で古代エジプト文明を扱った大著としては、B.J. Kemp, *Ancient Egypt: Anatomy of a Civilization, 2nd Edition*. Oxon: Routledge, 2006 がある。初版は、1989年に出版されているが、第2版では全面改訂がなされ、古代エジプト人のアイデンティティの問題や王朝時代の最後の10世紀に関する章が追加されている。ケンプは人文社会科学諸分野の理論に造詣が深く、先王朝時代からグレコ・ローマン時代までに幅広い時代にわたって古代エジプト文明の特質を描き出すことを試みており、エジプト学を専攻する学生は必読の書であろう。

文化史では、J. Assmann, *The Mind of Egypt: History and Meaning in the Time of the Pharaohs*. New York: Metropolitan Books, 2002 が出色である。アスマンは本書で古代エジプトの精神史を試みている。以下のペインズの著作も推薦したい。

J. Bains, *Visual and written culture in Ancient Egypt*. Oxford: Oxford University Press, 2007.

J. Bains, *High Culture and Experience in Ancient Egypt*. Sheffield: Equinox, 2013.

人類学的な視点で先史時代から古王国時代を扱ったものとしては、R.J. Wenke, *The Ancient Egyptian State: The Origins of Egyptian Culture (c. 8000-2000 BC)*. Cambridge: Cambridge University Press, 2009 がある。本書は古代エジプト文明を他の初期文明との比較という視点で考察しているところが特徴的である。比較文明論的な視点から古代エジプト文明を扱ったものとしては、B.G. Trigger, *Early Civilizations: Ancient Egypt in context*. Cairo: American University in Cairo Press, 1993 があり、邦訳版（川西宏幸訳『初期文明の比較考古学』同成社、2001年）もある。なお、古代エジプト史が将来比較文明論あるいは比較史に大きく貢献できる可能性を指摘した刺激的な論考とし

て、J.C.M. García, “Ancient States and Pharaonic Egypt: An Agenda for Future Research,” *Journal of Egyptian History* vol.7 (2014), 203-240 を紹介したい。

近年の歴史学において国民国家の歴史ではなく、国家を超えた地域相互の関係やより地球規模の巨視的な歴史を考察する「グローバル・ヒストリー」が隆盛であるが、古典的な *The Cambridge Ancient History* に変わる新しい世界史のシリーズとして、2015年より *The Cambridge World History* がこの観点で刊行された。古代エジプトは、第3巻の Early Cities in Comparative Perspective, 4000 BCE-1200CE で扱われており、他の初期文明との比較で、John Bains が “Ancient Egyptian cities: monumentality and performance” という題で古代エジプトの都市の特徴を考察している。

日本語で書かれた通史は、以下を参照されたい。

内田杉彦『古代エジプト入門』岩波ジュニア新書、2007年

大貫良夫、渡辺和子、屋形禎亮、前川和也『世界の歴史〈1〉人類の起源と古代オリエント』中公文庫、2009年

『岩波講座 世界歴史〈2〉オリエント世界-7世紀』岩波書店、1998年

『岩波講座 世界歴史〈1〉古代1 古代オリエント世界 地中海世界 I』岩波書店、1969年

1969年版の岩波講座世界歴史は、情報が古いものの、当時の日本の古代オリエント学のレベルの高さが窺われる。日本における古代オリエント学は、現在よりも1960年代のほうが盛んだったのではないかと思えるほどである。

なお、各時代の通史は以下を参照されたい。

①先史・先王朝時代

M. Hoffman, *Egypt before the Pharaohs*. New York: Barnes & Noble, 1979.

A. Stevenson, “The Egyptian Predynastic and State Formation.” *Journal of Archaeological Research* vol. 24 (2016): 1-48 (最新の新石器時代から初期王朝時代までの総説)

<http://link.springer.com/article/10.1007/s10814-016-9094-7>

G. Tassie, *Prehistoric Egypt*. London: Golden House Press, 2014

E. Teeter (ed.), *Before the Pyramids: The origins of Egyptian Civilization*. Oriental Institute Publications 33. Chicago: Oriental Institute of the University of Chicago.

<https://oi.uchicago.edu/sites/oi.uchicago.edu/files/uploads/shared/docs/oimp33.pdf>

B. Midant-Reynes, *The Prehistory of Egypt: From the First Egyptians to the First Pharaohs*. Oxford: Blackwell, 2000.

B. Midant-Reynes, *Aux origines de l'Égypte. Du Néolithique à l'émergence de l'État*. Paris: Gratuit, 2004.

D. Wengrow, *The Archaeology of Early Egypt*. Cambridge: Cambridge University Press, 2006.

E. van den Brink and T. Levy (eds.), *Egypt and the Levant: Interrelations from the 4th through the early 3rd millennium B.C.E.* London and New York: Leicester University Press, 2002.

②初期王朝時代

T. Wilkinson, *Early Dynastic Egypt: Strategies, Society and Security*. New York: Routledge, 2001.

③古王国時代

M. Bárta, *Journey to the West: The World of the Old Kingdom tombs in Ancient Egypt*. Prague: Charles University, 2011.

https://www.academia.edu/23316703/Journey_to_the_West_The_world_of_the_Old_Kingdom_tombs_in_Ancient_Egypt._Prague_2012

P. Der Manuelian (ed.), *Towards a New History of the Egyptian Old Kingdom: Perspectives on the Pyramid Age*. Leiden: Brill, 2015.

M. Verner, *Sons of the Sun: Rise and Decline of the Fifth Dynasty*. Prague: Charles University, 2014.

N. Strudwick and H. Strudwick (eds.), *Old Kingdom, new perspectives: Egyptian art and archaeology 2750-2150 BC*. Oxford: Oxbow Books, 2011.

④第1 中間期

L. Gestermann, *Kontinuität und Wandel in Politik und Verwaltung des frühen Mittleren Reiches in Ägypten*. GOF IV, 18, Wiesbaden, 1987.

H. Willems, *Les Textes des Sarcophages et la démocratie. Éléments d'une histoire culturelle du Moyen Empire égyptien*. Paris, 2008.

⑤中王国時代

W. Grajetzki, *The Middle Kingdom of Ancient Egypt*. London: GHP, 2006.

D.P. Silverman, W.K. Simpson, and J. Wegner (eds.), *Archaism and innovation: Studies in the Culture of Middle Kingdom Egypt*. New Heaven: Yale University/ University of Pennsylvania Museum of Archaeology and Anthropology, 2009.

⑥第2 中間期

K. Ryholt, *The Political Situation in Egypt during the Second Intermediate Period c. 1800-1550 B.C.* Copenhagen: CNI Publications, 1997.

⑦新王国時代

新王国時代については、王の治世ごとの研究が中心となり、多数出版されているが重要な画期についての研究書を紹介する。

J.M. Galánm, B.M. Bryan, and P.F. Dorman (eds.), *Creativity and Innovation in the Reign of Hatshepsut*. Studies in Ancient Oriental Civilization, no. 59. Chicago: The Oriental Institute of the University of Chicago, 2014.

<https://oi.uchicago.edu/sites/oi.uchicago.edu/files/uploads/shared/docs/saoc69.pdf>

E.H. Cline and D. O'Conner, *Thutmose III: A New Biography*. Ann Arbor: University of Michigan Press, 2006.

D. O'Connor and E.H. Cline (eds.), *Amenhotep III: Perspective on His Reign*. Ann Arbor: University of Michigan Press, 1998.

E. Hornung, *Akhenaten and the religion of light*. Ithaca: Cornell University Press, 1999.

D. Laboury, *Akhénaton: Les grands Pharaons*. Paris: Pygmalion, 2010.

M. Eaton-Krauss, *The Unknown Tutankhamun*. London: Bloomsbury, 2015.

P. Brand, *The Monuments of Seti I: Epigraphic, Historical & Art Historical Analysis*. Leiden: Brill, 2000.

K. Kitchen, *Pharaoh triumphant, the life and times of Ramesses II*. Warminster: Aris & Phillips, 1990.

R. Wilkindon (ed.), *Tauseret: Forgotten Queen and Pharaoh of Egypt*. Oxford: Oxford University Press, 2012.

E. Cline and D. O'Connor (eds.), *Ramesses III: The Life and Times of Egypt's Last Hero*. Ann Arbor: Michigan, 2012.

A. Peden, *The Reign of Ramesses IV*. Warminster: Aris & Phillips, 1994.

M. Barwick, *The Twilight of Ramesside Egypt: Studies on the History of Egypt at the end of the Ramesside Period*. Warsaw: Agade, 2011.

⑧第3中間期・末期王朝時代

G.P.F. Broekman, R.J. Demarée and O.E. Kaper (eds.), *The Libyan Period in Egypt*. Leuven: Peeters, 2009.

K. Kitchen, *The Third Intermediate Period in Egypt (1100-650 BC)*, 2nd Edition. Warminster: Aris & Phillips, 1986.

R.B. Gozzoli, *The Writing of History in Ancient Egypt during the First Millennium (ca. 1070-180 BC). Trends and Perspectives*. London: GHP, 2009.

⑨編年

E. Hornung, R. Krauss, and D.A. Warburton (eds.), *Ancient Egyptian Chronology*. Leiden: Brill, 2006.

A.J. Shortland and C.B. Ramsey (eds.), *Radiocarbon and the Chronologies of Ancient Egypt*. Oxford: Oxbow, 2013.

M.W. Dee, J.M. Rowland, T.F.G. Higham, A.J. Shortland, F. Brock, S.A. Harris, and C.B. Ramsey, "Synchronising radiocarbon dating and the Egyptian historical chronology by improved sample selection," *Antiquity* 86 (2012), pp. 868-883.

K.A. Kitchen, "The strengths and weakness of Egyptian chronology: a reconsideration," *Ägypten und Levante* 16 (2006), pp. 293-308.

T. Schneider, "Periodizing Egyptian History: Manetho, Convention, and Beyond," in K.-P. Adam (ed.), *Histoographie in der Antike*. Berlin: Greuyter, 2008, pp. 183-197.

H. Vymazalová and M. Bárta (eds.), *Chronology and Archaeology in Ancient Egypt (The Third Millennium B.C.)*. Prague: Czech Institute of Egyptology, Charles University, 2008.

⑩歴史叙述

J. Baines, "On the evolution, purpose and forms and Egyptian annals," in E.-M. Engel, V. Müller, U. Hartung (eds.), *Zeichen aus dem Sand: Streiflichter aus Ägyptens Geschichte zu Ehren von Günter Dreyer*, Wiesbaden: Harrassowitz, 2008, pp. 19-40.

D. O'Connor, "Political Systems and Archaeological Data in Egypt: 2600-1780 B. C." *World Archaeology* 6/1 (1974), pp. 15-38.

C. Eyre, 1996. "Is Egyptian historical literature 'historical' or 'literary'?" in A. Loprieno, (ed.), *Ancient Egyptian Literature: History and forms*, Leiden: Brill, pp. 415-434.

M. Fitzenreiter, (ed.) *Das Ereignis: Geschichtsschreibung zwischen Vorfall und Befund*. London: Golden House Publications, 2007.

http://www2.hu-berlin.de/nilus/net-publications/ibaes10/publikation/ryholt_ibaes10.pdf

D.B. Redford, "The Historiography of Ancient Egypt," in K. Weeks (ed.), *Egyptology and the social sciences: Five studies*. Cairo: American University in Cairo Press, 1979, pp. 3-20.

D.B. Redford, *Pharaonic King-lists, Annals and Day-books: a Contribution to the Study of the Egyptian Sense of History*. Mississauga, Ontario: Benben Publications, 1986.

J. Richards, "Text and Context in late Old Kingdom Egypt: The Archaeology and Historiography of Weni the Elder," *Journal of the American Research Center in Egypt* 39 (2002), pp.75–102.

T. Schneider, "History as festival? A reassessment of the use of the past and the place of historiography in ancient Egyptian thought," in K.A. Raaflaub (ed.), *Thinking, recording, and writing history in the ancient world*, Chichester: Wiley-Blackwell, 2014, pp. 117-143.

J. Tait (ed.), *Never had the like occurred: Egypt's view of its past*. London: University College London Press, 2003.

考古学

エジプト考古学に関する概説書が出版されるようになったのは比較的最近のことである。膨大な文字史料と図像資料があるために、先王朝時代以外では考古学的研究が歴史学の補助的な位置づけにあったが、近年では質の高い膨大な発掘調査のデータが蓄積されてきたために王朝時代の考古学的な研究が増加している。また、従来は墓地や神殿の調査が多かったが、都市・集落の発掘調査が増加してことも考古学の概説書が出版されるようになった背景として考えられる。主な概説書としては、以下を挙げる。

K. Bard, *An Introduction to the Archaeology of Ancient Egypt*, 2nd Edition. New Jersey: Wiley-Blackwell, 2015.

D.J. Brewer, *The Archaeology of Ancient Egypt: Beyond Pharaohs*. Cambridge: Cambridge University Press, 2015.

N. Möller, *The Archaeology of Urbanism in Ancient Egypt: From the Predynastic Period to the End of the Middle Kingdom*. Cambridge: Cambridge University Press, 2016.

W. Wendrich (ed.), *Egyptian Archaeology*. New Jersey: Wiley-Blackwell, 2010.

①遺跡・記念物リスト

エジプトの遺跡、記念物等の網羅的なリストは、オックスフォード大学のグリフィス研究所から刊行されている。通称 Porter & Moss あるいは、PM とも呼ばれる *Topographical Bibliography of Ancient Egyptian Hieroglyphic Texts, Statues, Reliefs and Paintings*. Oxford: Griffith Institute が、THE DIGITAL TOPOGRAPHICAL BIBLIOGRAPHY としてウェブ上で無料ダウンロードが可能である。<http://topbib.griffith.ox.ac.uk//index.html> または、<http://www.griffith.ox.ac.uk/topbib.HTML> を参照。本ホームページでは、現在進行形のプロジェクトについて更新が続けられており、研究者からの情報提供も受け付けている。

②葬制

J. Baines and P. Lacovara, "Burial and the dead in ancient Egyptian society: respect, formalism, neglect," *Journal of social archaeology* 2/1 (2002), pp. 5-36

L. Meskell, "The Egyptian ways of death," in M. Chesson (ed.), *Social Memory, Identity and Death: Intradisciplinary Perspectives on Mortuary Rituals*. Washington: American Anthropological Association, 2001, pp. 27-40.

A. Stevenson, "Social relationships in Predynastic burials," *Journal of Egyptian Archaeology* 95 (2009), pp. 175-92.

W. Grajetzki, *Burial Customs in Ancient Egypt: Life in Death for Rich and Poor*. London: Dockworth, 2003.

- H. Willems (ed.), *Social Aspects of Funerary Culture in the Egyptian Old and Middle Kingdoms. Proceedings of the international symposium held at Leiden University 6-7 June 1996*, OLA 103, Leuven: Peeters, 2001.
- J. Bourriau, "Patterns of change in burial customs during the Middle Kingdom," in S. Quirke (ed.), *Middle Kingdom Studies*, 3-20. New Malden: SIA Publications, 1991.
- J. Bourriau, "Change of Body Position in Egyptian Burials from the Mid XIIth Dynasty until the Early XVIIIth Dynasty," in H. Willems (ed.), *Social Aspects of Funerary Culture in the Egyptian Old and Middle Kingdoms. Proceedings of the international symposium held at Leiden University 6-7 June 1996*, OLA 103, Leuven: Peeters, 2001, pp. 1-20.
- J. Richards, *Society and Death in Ancient Egypt: Mortuary Landscapes of the Middle Kingdom*. Cambridge: Cambridge University Press, 2005.
- C. Näser, "Equipping and Stripping the Dead: A Case study on the Procurement, Compilation, Arrangement, and Fragmentation of Grave Inventories in New Kingdom Thebes," in S. Tarlow and L. Nilsson Stutz (eds.), *The Oxford Handbook of the Archaeology of Death & Burial*. Oxford: Oxford University Press, 2013: 643-661.
- K.M. Coonery, *The cost of the death: The social and economic value of Ancient Egyptian Funerary art in the Ramesside Period*. Leiden: Nederlands Instituut voor het Nabije Oosten, 2007.
- M. Zitman, *The necropolis of Assiut: A case study of local Egyptian funerary culture from the Old Kingdom to the end of the Middle Kingdom*. 2 vol.s. Leuven: Peeters, 2010.

展覧会の図録ではあるが、非常に充実した以下の2冊を紹介する。

- S. D'Auria, P. Lacovara, and C.H. Roehrig (eds.), *Mummies & Magic: The Funerary Arts of Ancient Egypt*. Boston: Museum of Fine Arts, 1988.
- J. Dawson, W. Grajetzki, J. Taylor, H. Strudwick (eds.), *Death on the Nile: Uncovering the Afterlife of Ancient Egypt*, Cambridge: D Giles Ltd, 2016.

③集落

- D. O'Connor, "The Geography of Settlement in Ancient Egypt," in P.J. Ucko, R. Tringham, G.W. Dimbleby (eds.), *Man, Settlement and Urbanism*, London: Duckworth, 1977, pp. 681-698.
- D. O'Connor, "City and palace in New Kingdom Egypt," *Cahier de recherches de l'Institut de Papyrologie et d'Égyptologie de Lille* 11 (1989), pp. 73-87.
- F. Hassan, "Town and village in ancient Egypt: Ecology, society and urbanization," in T. Shaw (ed.), *The archaeology of Africa: Food, metals and towns*, London: Routledge, 1993, pp. 551-569.
- M. Bietak, *House and Palace in Ancient Egypt*. Vienna: Österreichischen Akademie der Wissenschaften, 2010.
- M. Bietek and E. Czerny (eds.), *Cities and urbanism in ancient Egypt*. Wien: Verlag der Österreichischen Akademie der Wissenschaften, 2010.
- D. Jeffreys and A. Tavares, "The historic landscape of Early Dynastic Memphis," *Mitteilungen des Deutschen Archäologischen Instituts, Abteilung Kairo* 50 (1994), pp. 143-173.
- G.D. Mumford, "Settlements – Distribution, Structure, Architectonic: Pharaonic," in Lloyd, A. B. (ed.), *A Companion to Ancient Egypt I*, Chichester: Wiley- Blackwell, 2010, pp. 326-349.
- R. Wenke, "City-States, Nation-States, and Territorial States. The problem of Egypt," in D.L. Nichols, and T. H. Charlton (eds.), *The archaeology of city-states: Cross-cultural approaches*, London: Smithsonian Institution Press, 1998, pp. 27-49.

④土器

- Do. Arnold and J. Bourriau, *An Introduction to Ancient Egyptian Pottery*. Mainz: Phillip von Zabern, 1993.
- D. Aston, *Egyptian Pottery of the Late New Kingdom and Third Intermediate Period*. Heidelberg: Heidelberger Orientverlag, 1996.
- D. Aston, B. Bader, C. Gallorini, P.T. Nicholson, and S. Buckingham (eds.), *Under the potter's tree: studies in ancient Egypt presented to Janine Bourriau on the occasion of her 70th Birthday*. Leuven: Peeters, 2004.
- B. Bader and M.F. Ownby (eds.), *Functional Aspects of Egyptian Ceramics in Their Archaeological Context*. Leuven: Peeters, 2013
- B. Bader, C.M. Knoblauch, and E.C. Köhler (eds.), *Vienna 2 – Ancient Egyptian Ceramics in the 21st Century*, Leuven: Peeters, 2016.
- T. Rzeuska, *Saqqara II: Pottery of the late Old Kingdom. Funerary pottery and burial customs*. Warsaw: Wydawnictwo Neriton, 2006.
- T. Rzeuska and A. Wodzinska (eds.), *Studies on Old Kingdom Pottery*. Warsaw: Wydawnictwo Neriton, 2009.
- R. Schiestl and A. Seiler (eds.), *Handbook of pottery of the Egyptian Middle Kingdom*. 2 vols. Vienna: Verlag der Österreichischen Akademie der Wissenschaften, 2012.
- A. Wodzinska, *A Manual of Egyptian Pottery*, 4 vols. Boston: Ancient Egypt Research Associations, 2009-2010.
- Vol. 1: http://www.aeraweb.org/wp-content/uploads/2011/07/revised_vol1_WEB.pdf
- Vol. 2: http://www.aeraweb.org/wp-content/uploads/2011/07/revised_vol2_WEB.pdf
- Vol. 3: http://www.aeraweb.org/wp-content/uploads/2011/07/vol3_for_web.pdf
- Vol. 4: http://www.aeraweb.org/wp-content/uploads/2011/07/vol4_for_web.pdf

⑤石材・石製品、金属・金属製品

- R. Klemm and D. Klemm, *Stone and Stone Quarries in Ancient Egypt*. London: British Museum Press, 2008.
- R. Klemm and D. Klemm, *Gold and Gold Mining in Ancient Egypt and Nubia*. Springer, 2013.
<http://www.springer.com/us/book/9783642225079>
- なお、地質学に関してはトレド大学の Research on the Archaeological Geology of Ancient Egypt が有益なウェブサイトである。
<http://www.eeescience.utoledo.edu/Faculty/Harrell/Egypt/AGRHome.html>
- J. Bains, “Stone and other materials in Ancient Egypt: Usages and Values,” in C. Karlshausen and T.D. Putter (eds.), *Pierres égyptiennes: Chefs d'oeuvre pour l'Éternité*, Mons: Faculté Polytechnic de Mons. Teaching Collection no. 2497, 2000, pp.29-41.
- B.G. Aston, *Ancient Egyptian Stone Vessels: materials and forms*. Heidelberg: Heidelberger Orientverlag, 1994.
- C. Lilyquist, *Egyptian Stone Vessels Khian through Tuthmosis IV*. New York: Metropolitan Museum of Art, 1995.
http://resources.metmuseum.org/resources/metpublications/pdf/Egyptian_Stone_Vessels_Khian_through_Tuthmosis_IV.pdf
- B. Scheel, *Egyptian Metalworking and Tools*. Aylesbury: Shire Publication, 1989.
- J. Ogden, “Metals,” in P.T. Nicholson and I. Shaw (eds.), *Ancient Egyptian Materials and Technology*. Cambridge: Cambridge University Press, 2009, pp.148-176.

⑥技術

P.T. Nicholson and I. Shaw (eds.), *Ancient Egyptian Materials and Technology*. Cambridge: Cambridge University Press, 2009.

I. Shaw, *Ancient Egyptian Technology and Innovation*. Bristol: Bristol Classical Press, 2012.

D. A. Stocks, *Experiments in Egyptian Archaeology: Stoneworking technology in Ancient Egypt*. London: Routledge, 2003.

J. Bourriau and J. Philips (eds.), *Invention and Innovation: The Social Context of Technological Change 2 Egypt, the Aegean and the Near East, 1650-1150 BC*, Oxford: Oxbow, 2004.

A. Shortland, *The Social Context of Technological Change: Egypt and the Near East 1659-1550 BC*. Oxford: Oxbow, 2001.

A. Stevens and M. Eccleston, “Craft Production and Technology,” in T. Wilkinson (ed.), *The Egyptian World*, London: Routledge, 2010, pp.146-159..

⑦民族考古学

W. Wendrich and G. VanndervKooij (eds.), *Moving Matters / Ethnoarchaology in the Near East*. Leiden: CNWS Publications, 2002.

建築

古代エジプト建築のバイブルとして挙げられるのが、D. Arnold, *Building in Egypt*, Oxford: Oxford University Press, 1997. であるが、フランス語でも網羅的な研究書が出版された。J-C. Goyon, J-C. Golvin, and S-B, Gilles Martinet, *La construction Pharaonique*. Paris: Editions Picard, 2004 が出色である。著者は、特に長い間カルナク神殿で研究を続けてきた建築を専門とするエジプト学者であり、各所に盛り込まれたイラストが非常に分かり易い。古代エジプト建築の事典としては、D. Arnold, *The Encyclopedia of Ancient Egyptian Architecture*. Cairo: American University in Cairo Press, 2003 が良書である。その他近年出版されたものでは以下を推薦したい。

C. Rossi, *Architecture and Mathematics in Ancient Egypt*, Cambridge: Cambridge University Press, 2004.

なお、古代エジプトの建築に関する文献については、西本真一氏が早稲田大学理工学部建築史研究室の雑誌『史標』6号、7号、8号、13号の中で紹介されている。academia.edu の以下を参照されたい。

<https://www.academia.edu/7259297/> 史標_Shihyo_6_12_12_1991_

<https://www.academia.edu/7269478/> 史標_Shihyo_7_3_3_1992_

<https://www.academia.edu/7275146/> 史標_Shihyo_8_6_6_1992_

<https://www.academia.edu/17879734/> 史標_Shihyo_13_9_9_1993_

美術

美術に関する研究書は、最近頻繁に出版されている。古典的な古代エジプト美術の概説書は、H. Schafer, *Principles of Egyptian Art*. Oxford: Oxford University Press, 1987. がある。近年では、邦訳も出版された J. Malek, *Egyptian Art*. New York: Phaidon Press, 1999 (近藤二郎訳『エジプト美術』(岩波 世界の美術) 岩波書店、2004年) が初学者に分かり易く、歴史的文化的背景も著された良書である。最近出版された古代エジプト美術の総説としては、以下を推薦したい。

M.K. Hartwig, *A Companion to Ancient Egyptian Art*. New Jersey: Wiley-Blackwell, 2015.

本書は、古代エジプト美術史研究の方法論、材料と媒体、美術の概念、周辺地域との交流、現代世界におけるエジプト美術の受容、技術と解釈の章から構成されており、古代エジプト美術史研究

の現状を概観することができる。本書とすでに紹介した、A.B. Lloyd (ed.), *A Companion to Ancient Egypt*, 2 vols. New Jersey: Wiley-Blackwell, 2010 の第2巻の第6章 Visual Arts と合わせて参照すると良い。

なお、壁画については、W.V. Davies, *Color and Painting in Ancient Egypt*. London: British Museum Press, 2001、人物描写と様式については、G. Robins, *Proportion and Style in Ancient Egyptian Art*. London: Thames & Hudson, 1994 が良書である。

1990年代より各地でテーマ別の大規模な展覧会が開催され、図録がかなり質の高い研究書となっている。以下を参照されたい。

D.C. Patch, *Dawn of Egyptian Art*. New York: Metropolitan Museum of Art, 2012.

Do. Arnold, K. Grzymalski, C. Ziegler et al., *Egyptian Art in the Age of the Pyramids*. New York: Metropolitan Museum of Art, 1999.

http://www.metmuseum.org/art/metpublications/egyptian_art_in_the_age_of_the_pyramids (無料ダウンロード可)

J. Bourriau, *Pharaohs and mortals: Egyptian art in the Middle Kingdom*. Cambridge: Cambridge University Press, 1988.

A. Oppenheim, Do. Arnold, D. Arnold, and K. Yamamoto (eds.), *Ancient Egypt Transformed: The Middle Kingdom*. New York: Metropolitan Museum of Art, 2015.

C.H. Roehrig, R. Dreyfus, and C.A. Keller (eds.), *Hatshepsut: From Queen to Pharaoh*. New York: Metropolitan Museum of Art, 2005.

http://www.metmuseum.org/art/metpublications/Hatshepsut_From_Queen_to_Pharaoh?Tag=&title=&author=&pt=0&tc=0&dept={3424C1B0-30CB-44F1-967E-0EE0D73E35CD}&fmt=0 (無料ダウンロード可)

A.P. Kozloff, B.M. Bryan, L.M. Berman, E. Delange (eds.), *Egypt's Dazzling Sun: Amenhotep III and His World*. Cleveland: Cleveland Museum of Art, 1992.

Do. Arnold (ed.), *The Royal Women of Amarna*. New York: Metropolitan Museum of Art, 1999.

http://www.metmuseum.org/art/metpublications/The_Royal_Women_of_Amarna_Images_of_Beauty_from_Ancient_Egypt?Tag=&title=&author=&pt=0&tc=0&dept={3424C1B0-30CB-44F1-967E-0EE0D73E35CD}&fmt=0 (無料ダウンロード可)

R. Freed, Y.J. Markowitz (eds.), *Pharaohs of the Sun: Akhenaten, Nefertiti, Tutankhamun*, Boston: Museum of Fine Arts, 1999.

F. Seyfried (ed.), *In the Light of Amarna: 100 Years of the Nefertiti Discovery*. Berlin: Michael Imhof Verlag, 2013.

A. Wiese and A. Brodbeck (eds.), *Tutankhamun The Golden Beyond: Tomb Treasures from the Valley of the Kings*. Basel: Basler Druck+Verlag AG, bdv, 2004.

言語

言語については、日本語の文法書などに文献リストが掲載されているが、近年出版された良書も含めて基本文献を紹介したい。

①文法書

(1) 中エジプト語

古典的な文法書であるが、現在でも座右の書として重要なのは、A.H. Gardiner, *Egyptian Grammar*. Oxford: Griffith Institute. 1957. である。個人によって推薦される文法書は異なるが、筆者自身が中エジプト語を学んだ際に、非常に分かり易いと感じたのは、以下である。

J.E. Hoch, *Middle Egyptian Grammar*. Toronto: Benben, 1995.

近年では、以下のような文法書が出版されている。

J.F. Borghouts, *Egyptian: An Introduction to the Writing and Language of the Middle Kingdom*, 2 vols. Leuven: Peeters, 2010.

J.P. Allen, *Middle Egyptian: An Introduction to Language and Culture of Hieroglyphs*. Cambridge: Cambridge University Press, 2014.

B. Ockinga and H. Brunner, *A Concise Grammar of Middle Egyptian: An Outline of Middle Egyptian Grammar*. Mainz: Phillip von Zabern, 2012.

C. Obsomer and S. Favre-Briant, *Hieroglyphic Egyptian: A Practical Grammar of Middle Egyptian*. Brussels: Safran Publishers, 2015.

以上は、大学等で中エジプト語の入門用の教科書として使用されている。

初学者用には、以下がある。ヒエログリフの学習は文法が難しいために挫折しがちであるが、以下の文法書は、実践的アプローチで具体的な碑文の解読に慣れるように構成されている。邦訳も出版されている。

M. Collier and B. Manley, *How to read Egyptian Hieroglyphs*. London: British Museum Press, 1998.
(近藤二郎監修『ヒエログリフ解読法-古代エジプトの文字を読んでみよう』、ニュートンプレス、2000年)

B. Manley, *Egyptian Hieroglyphs for Complete Beginners*. London: Thames & Hudson, 2012.

(近藤二郎訳『はじめてのヒエログリフ実践講座』、原書房、2014年)

さらに、ロンドン大学考古学研究所の Richard Bussmann が 2016 年末に刊行予定の以下がある。

R. Bussmann, *Complete Middle Egyptian: Learn Beginner Hieroglyphs with Teach yourself*. London: Teach Yourself, 2016.

(2) 新エジプト語

古典的な新エジプト語の文法書には、J. Cerny, S.I. Groll, C. Eyre, *A Late Egyptian Grammar*. Rome: Gregorian University Press, 1984 があるが、近年では以下の 2 冊が定評である。

F. Junge, *Late Egyptian Grammar: An Introduction*. Oxford: Griffith Institute, 2005.

F. Neuvae and M. Cannata, *The Language of Ramesse: Late Egyptian Grammar*. Oxford: Oxbow, 2015.

(3) コプト語

古代エジプト語を理解するためには、コプト語の文法の知識が必要である。以下は、コプト語の主要な文法書である。

T.O. Lambdin, *Introduction to Sahdic Coptic*. Macon: Mercer University Press, 1982.

B. Layton, *A Coptic Grammar: Sahdic Dialect, With Chrestomathy and Glossary*. Wiesbaden: Otto Harrasowitz, 2004.

B. Layton. *Coptic in 20 Lessons: Introduction to Sahdic Coptic with Exercises & Vocabularies*. Leuven: Peeters, 2007.

J. Brankaer, *Coptic: A Coptic Learning Grammar*. Wiesbaden: Otto Harrasowitz, 2010.

②辞書

エジプト語の辞書は、A. Erman und H. Grapow, *Wörterbuch der Aegyptischen Sprache*. Berlin: Akademie Verlag, 1897-1961. が最も網羅的であり、随一である。

<http://www.egyptology.ru/lang.htm#Woerterbuch> で無料ダウンロードできる。

R. Faulkner, *A Concise Dictionary of Middle Egyptian*. Oxford: Griffith Institute, 1962. はあくまでもコンサイス辞書であり、説明や類例は少ない。本書の逆引き辞書は、D. Shenum, *English-Egyptian*

Index of Faulkner's Concise Dictionary of Middle Egyptian. Malibu: Undena Publications, 1977. がある。最近出版された辞書では、以下が定評である。

R. Hannig, *Ägyptisches Wörterbuch*. Mainz: Phillip von Zabern, 2003-

本書は、*Wörterbuch der Aegyptischen Sprache* に代わる大辞書を目指して刊行されたものであり、これまで中王国時代を扱う II までの 3 巻が刊行されている。今後、新王国時代以降の辞書が刊行される予定である。また、同著者によるコンサイス辞書としては、*Die Sprache der Pharaonen. Großes Handwörterbuch Ägyptisch-Deutsch*, Mainz: Phillip von Zabern, 2015. が定評である。

文字史料集成

古代エジプトの文字史料の古典的な写本集成は、*Urkunden des aegyptischen Altertums* (Urk.) があげられる。現在、Urk. IV, Heft 22 を除いて、大部はインターネット上で無料ダウンロードが可能である。 <http://www.egyptologyforum.org/EEFUrk.html>

Urk. I: K. Sethe, *Urkunden des Alten Reiches. Abteilung I*, Band I, Heft 1-4. Leipzig, 1932-1933.

(古王国時代の史料集成)

Urk. II: K. Sethe, *Hieroglyphische Urkunden der griechisch-rischen Zeit*. Band II, Heft 1-3, Leipzig, 1904-1916. (グレコ・ローマン時代の史料集成)

Urk. III: H. Schafer, *Urkunden der Alteren Athiopenkonige*. Band III, Heft 1-2, Leipzig, 1905-1908. (第 25 王朝)

Urk. IV: K. Sethe, *Urkunden der 18. Dynastie*. Abteilung IV, Band I, Heft 1-4, Leipzig, 1906.
 K. Sethe, *Urkunden der 18. Dynastie*. Abteilung IV, Band II, Heft 5-8, Leipzig, 1906.
 K. Sethe, *Urkunden der 18. Dynastie*. Abteilung IV, Band III, Heft 9-12, Leipzig, 1907.
 K. Sethe, *Urkunden der 18. Dynastie*. Abteilung IV, Band IV, Heft 13-16, Leipzig, 1909.
 W. Helck, *Urkunden der 18. Dynastie*. Abteilung IV, Heft 17, Berlin, 1955.
 W. Helck, *Urkunden der 18. Dynastie*. Abteilung IV, Heft 18, Berlin, 1956.
 W. Helck, *Urkunden der 18. Dynastie*. Abteilung IV, Heft 19, Berlin, 1957.
 W. Helck, *Urkunden der 18. Dynastie*. Abteilung IV, Heft 20, Berlin, 1957.
 W. Helck, *Urkunden der 18. Dynastie*. Abteilung IV, Heft 21, Berlin, 1958.
 W. Helck, *Urkunden der 18. Dynastie*. Abteilung IV, Heft 22, Berlin, 1958.

(新王国時代第 18 王朝の史料集成)

Urk. IV の Heft 17 以降の英訳は以下を参照。

B. Cumming, *Egyptian Historical Records of the Later Eighteenth Dynasty*, I-III. Warminster: Aris & Phillips, 1982-1984.

B. Davies, *Egyptian Historical Records of the Later Eighteenth Dynasty*, IV-VI. Warminster: Aris & Phillips, 1992-1995.

Urk. V: E. Grapow, *Religie Urkunden*, Leipzig, 1915-1917. (宗教文書の集成)

Urk. VI: S. Schott, *Urkunden mythologischen Inhalts*, Leipzig, 1929-1939. (神話の集成)

Urk. VII: K. Sethe, *Histrischen-biographische Urkunden des Mittleren Reiches*, Leipzig, 1935. (中王国時代の史料集成)

Urk. VIII: O. Firchow, *Thebanische Templingschriften aus griechish-rischer Zeit*, Berlin, 1957. (プトレマイオス朝時代のテーベの神殿碑文の集成)

英語による古典的な史料集成は、以下がある。

J.H. Breasted, *Ancient Records of Egypt: Historical documents from the earliest times to the Persian conquest*. Chicago: University of Chicago Press, 1906-7.

<https://archive.org/details/BreastedJ.H.AncientRecordsEgyptAll5Vols1906> で無料ダウンロード可。

これらの史料の写本は往々にして写し間違いが散見されるため、慎重に扱う必要がある。可能な限り、第1次史料を自ら記録、解読することが必要である。

なお、ラメセス朝の史料集成は、Kitchen の *Ramesside Inscriptions* が随一である。現在では、英訳および注釈も刊行されている。

K.A. Kitchen, *Ramesside Inscriptions*, Vols. I-VII, Wiley-Blackwell, 1996-2014.

近年、文字史料集成の英訳の出版は、Society of Biblical Literature を中心に増加傾向にあり、これまで以下の史料集成が刊行されている。

N. Strudwick, *Texts from the Pyramid Age*. Atlanta: SBL, 2005

J.P. Allen, *The Ancient Egyptian Pyramid Texts*. Atlanta: SBL, 2005.

W.J. Murnane, *Texts from the Amarna Period Egypt*. Atlanta: SBL, 1995.

E. Frood, *Biographical Texts from Ramessid Egypt*. Atlanta: SBL, 2007.

R.K. Ritner, *The Libyan Anarchy: Inscriptions from Egypt's Third Intermediate Period*. Atlanta: SBL, 2009.

古代エジプトにおける文字記録の歴史については、最近良書が出版されたので推薦したい。

C. Eyre, *The Use of Documents in Pharaonic Egypt*. Oxford: Oxford University Press, 2013.

文学

古代エジプトの文学については、以下が代表的な選集である。

M. Lichtheim, *Ancient Egyptian Literature*. Berkeley: University of California Press, 1973.

W.K. Simpson, R. Ritner, V.A. Tobin, E.F. Wente, *The Literature of Ancient Egypt*. New Heaven: Yale University Press, 2003.

総説は、以下のとおりである。

A. Loprieno (ed.), *Ancient Egyptian Literature: History and Forms*. *Problem der Ägyptologie* 10, Leiden: Brill, 1996.

①中王国時代

R.B. Parkinson, *The Tale of Sinuhe and other Ancient Egyptian Poems 1940-1640 BC*. Oxford: Oxford University Press, 1997.

以下は、中エジプト語の文法の学習を一通り終えた者が、テキストの読解を試みる際に有益である。

J.P. Allen, *Middle Egyptian Literature: Eight Literary Works of the Middle Kingdom*. Cambridge: Cambridge University Press, 2015. 全ての作品にヒエログリフ、翻字、訳、注釈が添えられており、エジプト語の学習に有益である。

S. Quirke, *Egyptian Literature 1800 BC Questions and readings*. London: GHP, 2004. これもヒエログリフの翻字と英訳が対訳されており、エジプト語の学習にも有益である。

中王国時代の文学についての論考は、R.B. Parkinson, *Poetry and Culture in Middle Kingdom Egypt: A Dark Side to Perfection*. London: Athlone Publication in Egyptology and Ancient Near Eastern Studies, 2002. と R.B. Parkinson, *Reading Ancient Egyptian Poetry: Among Other Histories*. Oxford: Oxford University Press.

ドイツ語による古王国時代と中王国時代の文学の入門は、G. Burkard and H.J. Thissen, *Einführung in die altägyptische Literaturgeschichte I: Altes und Mittleres Reich*, Einführungen und Quellentext zur Ägyptologie 1, Münster, 2003. が良書である。

②新王国時代

G. Burkard and H.J. Thissen, *Einführung in die altägyptische Literaturgeschichte II: Neues Reich*, Einführungen und Quellentext zur Ägyptologie 6, 2008.

J. Bains, "Classicism and modernism in the literature of the New Kingdom," in A. Loprieno. *Ancient Egyptian Literature: History and Forms*. *Problem der Ägyptologie* 10, Leiden: Brill, 1996: 157-74.

③末期王朝時代

M. Depauw, *A Companion to Demotic Studies*. *Papyrologia Bruxellensia* 28, Brussels, 1997.

F. Hoffmann and J.F. Quack, *Anthologie der demotischen Literature*. Einführungen und Quellentext zur Ägyptologie 4, Berlin, 2007.

宗教

古代エジプトの宗教についての概説書は膨大な数が出版されているが、近年出版されたものの中では、以下を推薦したい。

J.P. Allen, *Religion and Philosophy in Ancient Egypt*. New Heaven: Yale University Press, 1989.

J. Assmann, *The Search for the God in Ancient Egypt*. Ithaca: Cornell University Press, 2001.

J. Assmann, *Death and salvation in ancient Egypt*. Ithaca: Cornell University Press, 2005.

E. Hornung, *Idea into Image: Essays on Ancient Egyptian Thought*. New York, 1992.

E. Hornung, *Conceptions of God in Ancient Egypt: The One and the Many*. Ithaca: Cornell University Press.

G. Pinch, *Magic in Ancient Egypt*. London: British Museum Press, 1994.

G. Pinch, *Egyptian Myth: A Very Short Introduction*, Oxford: Oxford University Press, 2004.

S. Quirike, *Ancient Egyptian Religion*. London: British Museum Press, 1992.

R.K. Ritner, *The Mechanics of Ancient Egyptian Magical Practice*. Chicago: Oriental Institute of the University of Chicago, 1993.

A. Stevens, *Private Religion at Amarna: The Material Evidence*. Oxford: Archeopress, 2006.

K. Szpakowska, *Through a Glass Darkly: Magic, Dreams, and Prophecy in Ancient Egypt*. Swansea. Swansea University Press, 2006.

特に考古学を専攻する研究者に有益なのは、S. Quirike, *Exploring Religion in Ancient Egypt*. New Jersey: Wiley-Blackwell, 2014. である。従来の文献中心のアプローチではなく、文献、考古資料、図像資料をバランス良く駆使し、文化人類学的な考察も行っている。今後の古代エジプト宗教研究の方向性を示唆する良書である。

また考古学からの古代エジプトの祭祀、宗教へのアプローチは以下を推薦したい。

B.J. Kemp, "How religious were the ancient Egyptians?," *Cambridge Archaeological Journal* 5 (1995), pp. 25-54.

A. Stevens, "Chapter 45 Egypt," in T. Insoll (ed.), *The Oxford Handbook of the Archaeology of Ritual & Religion*. Oxford: Oxford University Press, 2011: 722-744.

コフィン・テキスト、死者の書

R.O. Faulkner, *The ancient Egyptian coffin texts: spells 1-1185 and indexes*. Oxford: Aris & Phillips, 1973.

S. Quirke, *Going out in Daylight: prt m hrw: the Ancient Egyptian Book of the Dead: Translations, Sources, Meanings*. London: Golden House Publications, 2013.

J.H. Taylor, *Journey through the afterlife: ancient Egyptian Book of the Dead*. London: British Museum Press, 2010.

H. Willems, *The World of the Coffin Texts: Proceedings of the Symposium Held on the Occasion of the 100th Birthday of Adriaan de Buck, Leiden, December 17-19, 1992*. Leiden: Nederlands Instituut voor het Nabije Oosten, 1996.

H. Willems, *Les Textes des Sarcophages et la démocratie. Éléments d'une histoire culturelle du Moyen Empire égyptien*. Quatre conférences présentées à l'École Pratique des Hautes Études. Section des Sciences religieuses, Paris, 2008.

王権

古代エジプトの王権についての古典的な概説は、フランクフォートの『王権と神々』である。H. Frankfort, *Kingship and Gods: A Study of Ancient Near Eastern Religion as the Integration of Society and Nature*. Chicago: The Oriental Institute of the University of Chicago, 1978. <http://oi.uchicago.edu/sites/oi.uchicago.edu/files/uploads/shared/docs/kingship.pdf>

近年出版されたものでは、D.B. O'Connor and D.P. Silverman (eds.), *Ancient Egyptian Kingship*. Leiden: Brill, 1995 と Ch. Ziegler (ed.), *The Pharaohs*. New York, 2002. が代表的な概説書として挙げられる。また、他の古代オリエントの王権研究も含めた論集としては、以下を推薦したい。

N. Brisch (ed.), *Religion and Power: Divine Kingship in the Ancient World and Beyond*. Chicago: The Oriental Institute of the University of Chicago, 2012.

<https://oi.uchicago.edu/research/publications/ois/ois-4-religion-and-power-divine-kingship-ancient-world-and-beyond>

J.A. Hill, P. Jones, and A.J. Morales (eds.), *Experiencing Power, Generating Authority: Cosmos, Politics, and the Ideology of Kingship in Ancient Egypt and Mesopotamia*. Philadelphia: University of Pennsylvania Museum of Archaeology and Anthropology, 2014.

行政

古代エジプト、特に中王国時代と新王国時代の行政についての古典的な研究書は、W. Helck, *Zur Verwaltung des Mittleren und Neuen Reiches*. Leiden: Brill, 1975. である。その後、行政機構の仕組みについては、B.J. Kemp, *Ancient Egypt: Anatomy of Civilization*. London: Routledge, 2006. の中で解説されている。最近では、古代エジプト全時代の行政を扱う網羅的な研究書として、J.C.M. García (ed.), *Ancient Egyptian Administration*. Leiden: Brill, 2013. が出色であり、今後の研究のガイドラインとして位置付けられる。

経済

古代エジプトの経済についての古典的な基本文献は、W. Helck, *Wirtschaftsgeschichte des Alten Ägypten im 3. und 2. Jahrtausend vor Chr.*, Leiden: Brill, 1975. と、J.J. Janssen, *Commodity Prices from the Ramesside Period*. Leiden: Brill, 1975. である。後者は、考古学を専攻する研究者にとっても古代エジプトのモノの価値を知る上で極めて重要な文献である。

近年の古代エジプトの社会経済史の動向を解説した総説論文としては、J.C.M. García, “Recent Development of Social and Economic History of Ancient Egypt,” *Journal of Ancient Near Eastern History* vol.1-2 (2014), 231-261. が出色である。現在、オンラインで無料ダウンロードが可能である。
<http://www.degruyter.com/view/j/janeh.2014.1.issue-2/janeh-2014-0002/janeh-2014-0002.xml>

自然科学的アプローチ

自然科学については、すでに技術の箇所でも挙げた P.T. Nicholson and I. Shaw (eds.), *Ancient Egyptian Materials and Technology*. Cambridge: Cambridge University Press, 2009. に古代エジプトで使用された物質について網羅的な概要が記されているが、昨年末に出版された、S. Kakrezewski, A. Shortland, and J. Rowland, *Science in the Study of Ancient Egypt*, Routledge Studies in Egyptology. London: Routledge, 2015 が出色である。本書は、従来の自然科学に関する研究書とは異なり、最近顕著なエジプト学への科学技術の応用に関する様々なトピックが網羅的に把握できるような構成になっている。例えば、理化学的な年代測定から、物理探査、GIS、人工衛星画像解析、遺物の材料分析、DNA 鑑定などの自然科学的な研究の最新の動向が解説されており、有益なガイドブックとなっている。

エジプトと周辺地域

①概説

- D. O'Connor and S. Quirke (eds), *Mysterious Lands*. London: UCL Press, 2003.
- Bevan, A. *Stone Vessels and Values in the Bronze Age Mediterranean*. New York; Cambridge: Cambridge University Press, 2007.
- M.H. Feldman, *Diplomacy by design: luxury arts and an “international style” in the ancient Near East, 1400-1200 BCE*. Chicago, London: University of Chicago Press, 2006.
- F. Förster and H. Riemer (eds), *Desert Road Archaeology in Ancient Egypt and Beyond*. Cologne: Heinrich-Barth-Institut, 2013.
- M. Liverani, *International Relations in the Ancient Near East*. Basingstoke: Palgrave, 2001.
- J. Mynářová (ed.), *Egypt and the Near East: the Crossroads. Proceedings of an international conference on the relations of Egypt and the Near East in the Bronze Age, Prague, September 1-3, 2010*. Prague: Charles University in Prague, 2011.
- J. Mynářová, P. Ondeka, O. Pavúk (eds.), *There and back again – the Crossroads II. Proceedings of an International conference held in Prague, September 15-18, 2014*. Prague: Charles University in Prague, 2015.
- R. Matthews and C. Roemer (eds), *Ancient Perspectives on Egypt*. London: UCL Press, 2003.
- J.K. Winnicki, *Late Egypt and Her Neighbours: Foreign Population in Egypt in the First Millennium BC*. Translated by Dorota Dzierzbicka. Warsaw: Warsaw University and Fundacja im. R. Taubenschlaga, 2009.
- E. Morris, *The Architecture of Imperialism: Military Bases and the Evolution of Foreign Policy in Egypt's New Kingdom*. Leiden: Brill, 2005.
- https://www.academia.edu/239634/The_Architecture_of_Imperialism_Military_Bases_and_the_Evolution_of_Foreign_Policy_in_Egypt_s_New_Kingdom

②エジプトとヌビア

W.Y. Adams, *Nubia: Corridor to Africa*. Princeton: Princeton University Press, 1977.

- D. O'Connor and A. Reid (eds.), *Ancient Egypt in Africa*. London: UCL Press, 2003.
- W.V. Davies (ed.), *Egypt and Africa: Nubia from Prehistory to Islam*. London: British Museum Press, 1991.
- M.M. Fisher, P. Lacovara, S. Ikram and S. D'Auria (eds.), *Ancient Nubia: African Kingdoms on the Nile*. Cairo: American University in Cairo Press, 2012.
- R. Friedman, (ed.), *Egypt and Nubia: Gifts of the Desert*. London: British Museum Press, 2002.
- T. Kendall, "Egypt and Nubia," in T. Wilkinson, (ed.), *The Egyptian World*, London, New York: Routledge, 2007, pp. 401-416.
- Török, L. *Between Two Worlds: the Frontier Region between Ancient Nubia and Egypt, 3,700 BC – 500 AD*. Leiden: Brill, 2009.
- J. Roy, *The Politics of Trade: Egypt and Lower Nubia in the 4th Millennium BC*. Leiden; Boston: Brill, 2011.
- S.T. Smith, *Wretched Kush: ethnic identities and boundaries in Egypt's Nubian empire*. London: Routledge, 2003.
- B.G. Trigger, *Nubia Under the Pharaohs*. London: Thames & Hudson, 1976.

③エジプトとリビア

- Leahy, M. A. (ed.), *Egypt and Libya, c. 1300–750 BC*. London: SOAS, 1990.
- D. Mattingly, S. McLaren, E. Savage, Y. al-Fasatwi, K. Gadgood (eds.), *The Libyan Desert: Natural Resources and Cultural Heritage*. London: Society for Libyan Studies, 2006.
- S. Snape, "The Emergence of Libya on the Horizon of Egypt," in D. O'Connor and S. Quirke (eds.), *Mysterious Lands*, London: UCL Press, 2003, pp. 93-106.
- H. Saleh, *Investigating ethnic and gender identities as expressed on wooden funerary stelae from the Libyan Period (c. 1069 - 715 B.C.E.) in Egypt*. Oxford: John and Erica Hedges, 2007.

④エジプトと西アジア、地中海世界

- J. Aruz, K. Benzel, J.M. Evans (eds.), *Beyond Babylon: Art, Trade, and Diplomacy in the Second Millennium B.C*. New York: Metropolitan Museum of Art, 2008.
- http://www.metmuseum.org/art/metpublications/beyond_babylon_art_trade_and_diplomacy_in_the_second_millennium_bc
- J. Aruz, S.B. Graff, Y. Rakic (eds.), *Cultures in Context: From Mesopotamia to the Mediterranean in the Second Millennium B.C*. New York: Metropolitan Museum of Art, 2013.
- M. Bietak (ed.), *Trade, power and cultural exchange: Hyksos Egypt and the eastern Mediterranean world 1800-1500*. Ägypten und Levante 5 (1995).
- M. Bietak, "Egypt and the Levant," in Wilkinson, T. (ed.), *The Egyptian World*, London, New York: Routledge, 2007, 417-448.
- E.C.M. Van den Brink (ed.), *The Nile Delta in Transition: 4th-3rd millennium B.C. Proceedings of the seminar held in Cairo, 21-24 October 1990, at the Netherlands Institute of Archaeology and Arabic Studies*, Tel Aviv, 1992.
- E.C.M. Van den Brink and T. Levy (eds.), *Egypt and the Levant: Interrelations from the 4th through the early 3rd Millennium BC*. London, New York: Leicester University Press, 2002.
- V.W. Davies, V. W. and L. Schofield (eds), *Egypt, the Aegean and the Levant: Interconnections in the Second Millennium BC*. London: British Museum, 1995.
- C.R. Higginbotham, *Egyptianization and Elite Emulation in Ramesside Palestine: Governance and*

Accommodation on the Imperial Periphery. Leiden: Brill, 2000.

Maïla-Afeiche, Anne-Marie (ed.), *Interconnections in the Eastern Mediterranean: Lebanon in the Bronze and Iron Ages. Proceedings of the International Symposium*, Beirut 2008, 37-56. Beirut: Direction Générale des Antiquités, 2009.

T. Wilkinson, "Egypt and Mesopotamia," in T. Wilkinson (ed.), *The Egyptian World*, London, New York: Routledge, 2009, pp.449-458.

K. Sowada, *Egypt in the Eastern Mediterranean During the Old Kingdom: an Archaeological Perspective*. Fribourg: Academic Press; Göttingen: Vandenhoeck & Ruprecht, 2009.

L. Steel, "Egypt and the Mediterranean World," in T. Wilkinson (ed.), *The Egyptian World*. London, New York: Routledge, pp. 459-475.

P. Kousoulis and K. Magliveras (eds.), *Moving Across Borders: Foreign Relations, Religion, and Cultural Interactions in the Ancient Mediterranean*. Leuven: Peeters, 2007.

D. Michaelidis, V. Kassianidou, R. S. Merrillees (eds.), *Egypt and Cyprus in Antiquity*. Oxford; Oakville: Oxbow Books, 2009.

Eder, B. and R. Pruzsinszky (eds.), *Policies of Exchange: Political Systems and Modes of Interaction in the Aegean and the Near East in the 2nd Millennium B.C.E.*, Vienna: Verlag der Österreichischen Akademie der Wissenschaften, 2015.

インターネット上の研究ツール

インターネットでの最初のエジプト学に特化したホームページは、1994年に Nigel Strudwick 氏が始めた Egyptology Resource (<http://www.fitzmuseum.cam.ac.uk/er/>) で、今日でも様々な情報を得るのに有益なリソースとなっているが、現在では最新情報は同名の Facebook のページの方が参照しやすい。

①文献検索

エジプト学研究において最新かつ網羅的な文献検索ツールは、オックスフォード大学グリフィス研究所で管理されている Online Egyptological Bibliography (OEB) である。<http://oeb.griffith.ox.ac.uk/default.aspx> 本サイトは有料であるが、少なくとも1年前までに刊行された論文、研究書まで網羅されており、必携のツールとして推薦したい。

その他では、後述するメーリング・リストの Egyptology Electronic Forum (EEF) の文献検索、データ・ベースのページ (<http://www.egyptologyforum.org/EEFBooks.html>) は有益なので、推薦したい。

エジプト学に限らず学術研究において、ネット上に電子媒体の論文や書籍をアップロードすることが一般的になっているが、最も重宝されるのが、Academia.edu (<https://www.academia.edu>) である。世界中の主要な研究者が電子媒体の論文などをアップロードするか、あるいは電子ジャーナルなどにリンクを貼っており、最新の興味深い研究を検索できる。使い方としては、ある特定の論文を探す場合は、New Kingdom、Theban Necropolis などといったカテゴリー別のリストから探すことができる。新しい論文は、自分の興味のあるカテゴリーに登録しておけば、新規アップロードされたものが電子メールで報告されるので、そこから選んでダウンロードすることができる。論文をアップすると同じような研究を行っている海外の研究者から問い合わせがあるなど、研究者ネットワークを拓げるのにも有効である。同じようなサイトで Research Gate (<https://www.researchgate.net>) があるが、こちらはどちらかというと理系を対象としている印象を受ける。

②情報メーリング・リスト

エジプト学関係の情報メーリング・リストとしては、Egyptology Electronic Forum (EEF)(<http://www.egyptologyforum.org>)が有益であり、ぜひお勧めしたい。<http://www.egyptologyforum.org/EEFApply.html>で、管理人の A.K. Eyma 氏宛に所定の事項を記入の上、購読の旨を送付すれば、メールが送られてくる。EEF では、毎日送られてくるものとダイジェスト版の両方があり、まとめて購読したい方はダイジェスト版をお勧めする。なお、情報としては各種展覧会、講演会、シンポジウム、学会、新刊書、電子ジャーナルのコンテンツ、考古学調査の新発見などありとあらゆる有益な情報が入手できる。<http://www.egyptologyforum.org> のサイトへ行けば、過去のアーカイブや無料でダウンロードできる書物や電子ジャーナルなどの情報も得ることができる。

③文献無料ダウンロード・サイト

EEF は、情報メーリング・リストだけでなく、無料ダウンロードが可能な研究書や論文のリストも提供している。特に以下の URL は有益である。

<http://www.egyptologyforum.org/EEFDigijournals.html>

メンフィス大学エジプト美術・考古学研究所も Egyptology Books and Articles in PDF online としてエジプト学関係の出版物の電子媒体が無料でダウンロードできるウェブサイトを提供している。

http://www.memphis.edu/egypt/resources/online_biblio/bibliography_mar2015.html

著者がアルファベット順にリストアップされており、そこから探すようになっている。

ニューヨーク大学古代世界研究所では、Ancient World Digital Library (<http://dlib.nyu.edu/ancientworld/>) というサイトがあり、ここからエジプト学関係の電子媒体の研究書を無料ダウンロードできる。

ドイツでは、ハイデルベルグ大学エジプト学研究所が、エジプト学を含めた古代史関係の研究書の電子版のアップロードに力を入れている。エジプト学関係の電子ジャーナルや研究書は <https://www.propylaeum.de/aegyptologie.html> を参照されたい。非常に有益なサイトである。

古代エジプトを含めた古代史研究のインターネット検索ツールとしては、AWOL-Ancient World Online (<http://ancientworldonline.blogspot.jp>) というブログが有益で、その中の Alphabetical List of Open Access Journals in Ancient Studies に無料ダウンロードが可能な電子ジャーナルのリストがある。<http://ancientworldonline.blogspot.jp/2012/07/alphabetical-list-of-open-access.html> を参照すると良い。また同様の古代オリエント学のインターネット検索ツールとして、ABZU(<http://www.etana.org/abzubib>) がある。

近年では米国の研究機関を中心に過去の出版物を電子版で無料ダウンロード可能にできるようになってきている。シカゴ大学オリエント研究所の研究者から聞いた話では、無料で電子版がダウンロードできることにより、以前より出版物の売り上げが上がったという。以下を参照されたい。

シカゴ大学オリエント研究所出版部カタログは、以下の URL を参照されたい。

<https://oi.uchicago.edu/research/catalog-publications>

シカゴ大学オリエント研究所の刊行物は、The Epigraphic Survey のシリーズにあるように大型で高価であったが、現在では無料ダウンロードが可能で、タブレット版にでも PDF をストックしておけば、エジプト現地の遺跡でも参照することができ、非常に便利である。

メトロポリタン美術館も過去の展覧会の図録、発掘報告書、学術雑誌などの多くを無料ダウンロード可能にしている。<http://www.metmuseum.org/art/metpublications> で検索が可能である。

またボストン美術館では、ギザを中心とする古王国時代に関する研究書、論文等が全て無料ダウンロードできるようになっており、以下のウェブサイトは極めて有益である。

The Giza Archives: <http://www.gizapyramids.org/>

ディール・アル＝マディーナに関するサイトは、ライデン大学の下記のウェブサイトが極めて有益である。 <http://www.leidenuniv.nl/nino/dmd/dmd.html>

おわりに

以上、必ずしも網羅的とは言えないが、エジプト学の初学者に有益と思われる研究書、論文、インターネットの情報を紹介した。約30年前の私が学部の学生だった頃は、インターネットも存在せず、雑誌論文や研究書を探すのに一苦労した。早稲田大学の中央図書館もエジプト学関係の蔵書がそれほど多いわけではなく、吉村作治先生のご尽力で早稲田大学客員教授として来日された、元エジプト考古庁長官故アハメド・カドリ博士の蔵書が早稲田大学古代エジプト調査室（現、早稲田大学エジプト学研究所）に寄贈されたり、早稲田大学中央図書館で英国のコレクションを購入していただいたりしたお陰で大きな恩恵を受けることができた。それでも、見つからない研究書や雑誌がかなりあった。大学院生の時には、定期購読されていない重要な学術雑誌の購入希望リクエストを頻繁に出し、早稲田大学中央図書館の図書館員に嫌な顔をされたが、その時に購入していただいたのが、*BIFAO (Bulletin de l'Institut Français d'Archéologie Orientale)*、*MDAIK (Mitteilungen des Deutschen Archäologischen Instituts Abteilung Kairo)*、*GM (Göttinger Miszellen)*、*SAK (Studien zur Altägyptischen Kultur)* であり、現在も継続購入されている。その後、米国に留学した際に膨大なエジプト学関係の蔵書を目の当たりにして驚愕したのを覚えている。

今日ではITの発展により、多くの書籍や学術雑誌が電子化され、日本にいても非常に入手が容易になり、隔世の感がする。今後は文献が入手困難という理由で研究が滞るということはほとんどありえず、効率的に情報から取捨選択することが必要になってくるであろう。良書かどうかを見極めるには、著者の研究の質から判断することが多いが、書評を読むということも重要である。エジプト学の研究雑誌の巻末の書評や書評だけの雑誌である *Bibliotheca Orientalis*（オンライン版は、http://poj.peeters-leuven.be/content.php?url=journal&journal_code=bior）を調べると良い。特に独仏語などの読解に時間がかかる言語で書かれた研究書は、英語の書評を読むことで、早く概要と要所を把握することができる。

本稿では、2016年3月時点で筆者が有益と考える重要文献やインターネットの情報を提供したに過ぎず、今後も良書が出版され、インターネット上のツールも夥しく増えていくであろう。最後に余談であるが、先日、早稲田大学中央図書館のデータ・ベース、WINEで以前購読希望を依頼した *Ägypten und Levante* と *Journal of Egyptian History* の電子購読契約が打ち切られているのを知り問い合わせしてみたところ、ダウンロード数が少ないので、財政上の都合で契約を打ち切ったとの返事があった。電子ジャーナルの恐ろしさは、ダウンロード数が数値として出てくるので、利用されなければ契約が解除されてしまうところにある。今後も図書館の物理的な問題から電子ジャーナル化が進むと思われるが、契約料が高いために利用しなければ契約が打ち切れ、学術研究に悪影響を及ぼしてしまうのである。学生自身も他力本願でなく、積極的に研究書や学術雑誌の購入希望を依頼し、研究の動向に常に敏感であり続けるよう大学で契約購入している電子ジャーナルを頻繁に利用してもらうことを期待したい。

今後も多くの学生がエジプト学に興味を持ち、本格的な研究に取り組んでもらうことを願いたい。

付録

早稲田大学中央図書館で閲覧可能なエジプト学および関連分野の雑誌、電子ジャーナルのリスト (2016年3月20日現在)

Ägypten und Levante (ÄL) vol.1-10のみ。オンライン版購読打切り

Antiquity オンライン版 <http://journals.cambridge.org/action/displayJournal?jid=aqy>

Annales du Service des Antiquités de l'Égypte (ASAE)

Bulletin of the American Schools of Oriental Research (BASOR)

Bulletin of the Australian Centre of Egyptology (BACE) vol.1-10 (1990-1999)のみ

Bulletin of the Egyptological Seminar (BES) vol.1-4, 6-18 (1979-1992, 1996-2009)

Bulletin de l'Institut français d'archéologie Orientale du Caire (BIFAO)

*BIFAOのバック・ナンバーはこちらも参照。 <http://www.ifao.egnet.net/bifao/>

Bibliotheca Orientalis (BiOr)

オンライン版 (1997-) http://poj.peeters-leuven.be/content.php?url=journal&journal_code=BIOR

Bulletin de la Société d'égyptologie de Genève (BSEG) vil.1-11 (1979-1987)

Cahiers de Recherches de l'Institut de Papyrologie et d'Égyptologie de Lille (CRIPEL)

Cambridge Archaeological Journal

オンライン版 <http://journals.cambridge.org/action/displayJournal?jid=CAJ>

Chronique d'Égypte (CdE)

Göttinger Miscellen (GM)

Journal of the American Oriental Society (JAOS)

Journal of the American Research Center in Egypt (JARCE)

オンライン版 <http://www.jstor.org/journal/jamerresecentegy>

Journal of Egyptian Archaeology (JEA)

Journal of Egyptian History (JEH)

オンライン版 <http://booksandjournals.brillonline.com/content/journals/1874166>

Journal of Near Eastern Studies (JNES)

Journal of the Society for the Study of Egyptian Antiquities (JSSEA) vol. 8-11 (1977-1981)

Mitteilungen des Deutschen Archäologischen Instituts Abteilung Kairo (MDAIK) vol. 14- (1956-)

Revue d'Égyptologie (RdE)

オンライン版 http://poj.peeters-leuven.be/content.php?url=journal&journal_code=RE

Studien zur Altägyptischen Kultur (SAK) オンライン版 <http://www.jstor.org/journal/studaltakult>

Zeitschrift für Ägyptische Sprache und Altertumskunde (ZÄS)

オンライン版 <http://www.degruyter.com/view/j/zaes>

註

- 1) 1980年代までの文献案内については、ロザリー・デイヴィッド (近藤二郎訳) 『古代エジプト人 その神々と生活』 筑摩書房、1986年、251-301に網羅的な文献案内があり、極めて有用である。近年では、イアン・ショー (近藤二郎・河合望訳) 『古代エジプト』 岩波書店、2007年の巻末に文献案内があるが、分野に少々偏りがある。また日本の読者のための読書案内も設けられている。

エジプト学研究 第22号

2016年3月31日発行

発行所 / 日本エジプト学会

〒169-8050 東京都新宿区戸塚町1-104

早稲田大学エジプト学研究所内

発行人 / 吉村作治

The Journal of Egyptian Studies No.22

Published date: 31 March 2016

Published by The Japan Society of Egyptologist

1-104, Totsuka-chyo, Shinjyuku-ku, Tokyo, 169-8050, Japan

© The Japan Society of Egyptologist